

「 「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ジョイコン NEWS ♪

第28号 2018年2月5日

前号でもお知らせした通り、「ジョイコン」はこの1月に5周年を迎えました。

この間、年6回の演奏会を企画から、チラシ・プログラム作成、予約受付などの準備活動、演奏会当日の運営に至るまで全てを実行委員（無償ボランティア）が行い、幅広いジャンルから熱き若手演奏家を迎え、お客様にご満足いただける質の高いコンサートを目指して参りました。
この姿勢はこれからも変わりません。引き続き宜しくお願い申し上げます。

それでは、「♪ジョイコン NEWS ♪」（第28号）をお届け致します。

【もくじ】

- 【1】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第32回コンサート
- 【2】 今後の予定（先取り情報）
 - ◆ 第33回コンサート（5周年記念特別演奏会）
 - ◆ 第34回コンサート
- 【3】 誰かに話したくなる音楽ミニ知識♪ソナタ
- 【4】 コンサートのアンケートから

【1】 次回コンサートのご案内

■■ 第32回コンサート ■■

- ◇ 2018年3月18日（日曜日）14:00開演（13:30受付開始）
- ◇ 出演：竹山愛（フルート）、景山梨乃（ハープ）
 - ※当初予定の押部朋子さん（フルート）が健康上の理由によりご出演できなくなりましたので、竹山愛さん（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席フルート奏者）に変更となりました。どうぞご了承ください。
- ◇ プログラム（予定）
 - ◆ ドップラー：ハンガリー田園幻想曲
 - ◆ ドビュッシー：小舟にて
 - ◆ ツァーベル：グノーの歌劇「ファウスト」の主題による幻想曲 Op. 12
 - ◆ 武満徹：海へⅢ（アルトフルートとハープのための）
 - ◆ ドップラー&ザマラ：カジルダ幻想曲 他
- ◇ 料金：大人・高校生 2,000円、中学生以下 1,000円
- ◇ 会場：大倉山記念館ホール

第32回ジョイフルコンサートは

『Duo Concert～フルートとハープが運ぶ春』と題して、お届けします。

景山梨乃さんからメッセージが届いています

大倉山ジョイフルコンサートへの出演は、前回のハープソロから二回目となりますが、今回はフルートの竹山愛さんとデュオで演奏させていただきます。
竹山さんとは私がまだ高校生の頃に共演させていただき、この度なんと10年ぶりの共演となります。その頃大学生だった竹山さんは現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の首席フルート奏者に、私は東京交響楽団の首席ハープ奏者になり、お互い様々な経験を経てどのようなハーモニーが生まれるのか、楽しみです。
生きものたちが動き出す春のような、華やかで生命力溢れるプログラムを、どうぞお楽しみください。（ハープ 景山梨乃）

第25回ジョイフルコンサートのハープソロで音のヴァリエティに富んだ演奏をして下さった景山梨乃さんと竹山愛さんのフルートのデュオコンサートです。春にぴったりの可憐なお2人の演奏をどうぞお楽しみになさってください。

☆ドップラー/ハンガリー田園幻想曲

○ドップラー

ドップラーはオーストリア領ハンガリーで生まれたフルート奏者、作曲家です。ブタペスト歌劇場の首席フルート奏者から、ウィーン宮廷歌劇場の首席フルート奏者、そして首席指揮者にまでなりました。生前はフルートの作曲家というよりはオペラ、バレエの舞台音楽の作曲家として有名だったそうです。

4歳年下の弟のカール・ドップラーもフルート奏者で、2人の兄弟での演奏はヨーロッパ中で大変評価されました。自分達で演奏するためにドップラーはフルートデュオ曲を書いています。その中に大変な超絶技巧を必要とする華麗な曲があるそうです。今度是非聴いてみたいですね。

カールは左利きだったそうで、フルートも反対に持っていたため舞台上では2人が鏡のように見え、それがまた人気の1つだったそうです。最初は意図していなかったかもしれませんが、超絶技巧を際立たせる舞台上の演出効果となったのかもしれませんが。左利き用のフルートがあるということも初めて知りました。大変興味深いエピソードです。

○ハンガリー田園幻想曲

ハンガリー田園幻想曲はドップラーの曲の中で最も有名な作品です。日本でも東洋的な曲想が感じられ人気が高いと言われています。

3部構成からなり、最初はゆっくりとしたテンポで始まり、次第に早くなり、最後は華やかに終わります。東洋的な雰囲気から、ジプシー音楽のように徐々に変わっていくようです。

冒頭部は日本の馬子唄に似ていると書かれていました。馬子唄がよくわからないので何とも言えませんが、確かに尺八を聴いているような節回しがあったような気がします。

ミステリー作家の横溝正史は隣の家でこの曲を練習しているのを聴き、イメージを膨らませて「悪魔が来たりて笛を吹く」を書いたそうです。その想像力も素晴らしいですが、これもまた面白いなあと思いました。

まだまだ雪が降ったり、寒い日が続く今日この頃ですが、きっと次回のジョイフルコンサートの頃には春が感じられることが多くなっていると思います。プログラムにも春が感じられる曲が満載です。どうぞ皆様お体ご自愛なさってコンサートでお会いしましょう。(A.N)

■予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

【2】今後の予定（先取り情報）～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第33回コンサート（5周年記念特別演奏会）■■

◇2018年5月20日（日曜日）～2部制で開催いたします

第1部 13:00開演（12:30受付開始）

第2部 16:30開演（16:00受付開始）

◇出演：大倉山カルテット（對馬哲男 Vn、倉富亮太 Vn、鈴木大樹 Va、佐古健一 Vc）

◇プログラム（予定）

・モーツァルト：弦楽四重奏曲第15番ニ短調 K.421

・ウェーベルン：弦楽四重奏のための緩徐楽章

・チャイコフスキー：弦楽四重奏曲第1番ニ長調 Op.11
(第1部、第2部ともプログラム、料金は同じです)

☆大倉山カルテットは2013年5月(第3回)、2014年5月(第9回)以来で、
4年ぶり3度目の登場です。
どうぞご期待ください。

◆予約受付開始日：2018年3月19日(月曜日)

■■第34回コンサート■■

◇2018年7月15日(日曜日)

◇出演：小山豊(津軽三味線)、斎藤純一(ギター)、他

【3】誰かに話したくなる音楽ミニ知識♪ソナタ

今回は、私が最近気になっている音楽用語をとり上げてみました。
ちょっとでも「へえ～そうだったのか！」と思っただけのところがあったら幸いです。

*ソナタ(奏鳴曲):ピアノやヴァイオリンやその他のソロで弾く楽器のための曲です。
語源はイタリア語の「sonare」(奏でる)。これに対し声楽曲のことをカンタータと
いいます。語源は「cantare」(歌う)です。ソナタは3つか4つの独立した楽章から
なり、そのうちのひとつの楽章は「ソナタ形式」というきまりを守って作られています。
第1楽章がソナタ形式で書かれたきっちりとした曲、第2楽章がゆっくりした
美しい曲で、第3楽章は「スケルツォ」「メヌエット」などの軽めの曲で省略される
こともあります。そして最後の楽章が軽く華やかなロンドなど、という構成が一般的
です。

「ソナタ形式」は、提示部・展開部・再現部の3つのパートからできています。
文章の起承転結と同じようなロジカルな構成です。起承が提示部にあたり、第1主題
と第2主題が出てきます。転が展開部で、提示部で出てきた主題を使って、ちょっと
違った雰囲気になります。結が再現部で、提示部のメロディーが戻ってきますが転調の
仕方を変えるとか工夫されながらコーダにつながります。

ソナチネは、ソナタの規模の小さなものですが、20世紀に入ってラヴェルやバル
トークらが芸術性の高い「ソナチネ」の作品を残しています。ラヴェルのソナチネの
テクニックの難しさはショパンのバラード、エチュード級です。

*スケルツォ：もともとは「冗談っぽい」という意味があり、軽くておどけたような
3拍子の曲のことをいいます。ショパンはスケールを大きくして、激しくするどい
嵐のようなピアノ曲に発展させました。シューマンが、『これが「冗談」なら「真面目」
はどうなるのか?』と言ったそうです。因みに、シューマンはショパンの曲の中で
バラード第1番ト短調が一番好きと伝えられています。(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート(1月21日公演):『伊藤悠貴チェロ・リサイタル』
は如何でしたか?

アンケートの満足度では、「大変良かった」78%、「良かった」8%、残りは
「無回答」の18%で、「大変良かった」の比率の高さは過去のコンサートでもトップ
クラスでした。

自由記入欄(ご感想など)には、
『チェロの優美な音色は大好きです。心が落ち着きます。若さからくる力強さ、華や
かさが素敵でした(指がきれいで見とれました)。お二人のかけ合い(演奏とおしゃべ
り)が楽しかったです』『演奏、選曲、トークともにすばらしく、大ファンになりました
。以前、もう少し大きいホールで聴きましたが、小ホールで身近に聴け感激です』
『とても素晴らしかったです。特に”ハンガリー狂詩曲”は引き込まれました!若い

お二人の今後のご活躍を期待しております』『初めて大倉山記念館を訪れました。こんなに素敵なホールがあるとは知りませんでした。ホールの雰囲気も大変良くて気に入りました。機会があれば又訪れたいと思います。演奏は云わずもがな全てブラボー！！です。おふたりのトークがとても楽しくてもっと聞いていたいと思いました』など、好意的メッセージが数多く寄せられました。
アンケート回収数：49（回収率 61%）

【編集後記】

立春を過ぎて暦の上では「春」になりました。ところが今年は厳しい冷え込みが続いています。1月には各地で大雪に見舞われ、数十年ぶりに最低気温を更新したとか、水道管の凍結で生活に支障が出ているとのニュースも流れました。ここ横浜でも2週続きの雪になりました。

「♪春は名のみ 風の寒さや 谷の鶯 歌は思えど 時にあらずと 声も立てず…」
『早春賦』（吉丸一昌作詞・中田章作曲）の歌詞です。季節はまだ歌の通りですが、暖かくなるまであともう少しです。（お）

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
